

せき・くしゃみをしている方をお願いします。
「咳エチケット」にご協力ください。



装着見本

正しいマスクの使い方

「咳エチケット」という言葉をご存知でしょうか？

風邪やインフルエンザなどの感染症の多くは、咳やくしゃみの時に空気中に飛ぶウイルス粒子を含んだ飛沫感染、あるいは空気感染により広がりますが、この感染経路の最初の段階をブロックすることにより、咳に含まれる飛沫量は減り、ひいては空気感染の危険を少なくすることができます。症状のある人はマスクを正しく着用し、マスクを着用していない時は、咳をする際はティッシュペーパーで口と鼻を覆い、使用したティッシュペーパーはすぐに廃棄しましょう。痰や唾液に触れたあとは、必ず手洗いを実施します。待合室で咳が出そうになったら、他の方から1m以上の距離を保つようにしましょう。周囲の方々への感染防止のために「咳エチケット」を心がけてください。

また、マスクの着用は呼吸器からの感染を効果的に防ぐことができ、手洗いとともに予防策の基本になっています。

そこで今回は、マスクの正しい使いかたを紹介します。実践することで、「咳エチケット」の言葉や考え方を皆さんで広めていきましょう。
(院内感染対策委員会)

サージカルマスクゴムタイプ使用方法



1
箱を開封し1枚ずつ取り出す。



2
ブルーの面を外側にし、白い面を鼻側にする。ノーズクリップ部分とマスク下部を持ち、三段プリーツが全て広がるようにする。



3
ノーズクリップを鼻に合わせる。



4
両耳にゴムをかけ、ノーズクリップを鼻のカーブに合わせて調節させる。その際、両ほほに隙間が出来ないようにする。



5
マスクはきちんとあごまで覆えるようにプリーツで長さを調整する。



院内にマスクの自動販売機を設置していますので、是非ご利用下さい。

- ◆正面玄関
- ◆病棟1階エレベーターホール

協力：白十字株式会社